

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース
理科	生物	4	3	選	特進 A コース
科目の目標	生物は生物基礎を履修した上で、より発展的な内容を学ぶ教科である。ヒトと他生物を比較しながらヒトの特徴を理解し、生物とは何かを考え、探究心を芽生えさせ、生物学に興味を持たせる事により、主体的に学ぼうとする意欲を身に付ける。				
教科書	高等学校 生物 (第一学習社)	副教材等	リード α 生物 (数研出版社)		

1. 学習の到達目標

教科書やノート、プリント、PC を使って授業を展開する。生物基礎の内容を復習しながら、高校生物の内容を学習する。自然現象を日常生活と結び付けて考え、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
第4章 生物の環境応答				○	○	○
第1節 動物の反応と行動	15	4 5	受容器、神経、効果器の関連性を理解させる。行動と神経系の働きを理解させる。	○	○	○
(前期中間試験)	1			○	○	○
第2節 植物の環境応答	20	6 7	被子植物の重複受精及び器官分化の概要に触れる。また、植物ホルモンについて理解させる	○	○	○
第5章 生態と環境						
第1節 個体群	17	8 9	生物群集が維持される仕組みや個体群間の関係性を見出して理解させる。	○	○	○
(前期期末試験)	1					
第2節 生態系	15	9 10	生態系の物質生産と物質循環に関する資料に基づいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と、生態系での物質循環とを関連付けて理解させる。	○	○	○
総復習(大学共通テスト対策)	30	10 11 12	過去問や問題集を利用しながら大学共通テストの特徴を理解し、試験対策を講じていく。	○	○	○
(後期中間試験)	1					
総復習(国公立大学 2 次試験及び私大試験対策)	20	1 2	過去問や問題集を利用しながら各大学の試験の特徴を理解し、試験対策を講じていく。	○	○	○